

AIエージェントが知財業務を革新：Claude Opus 4.5の衝撃

Claude Opus 4.5を支える革新的機能

AI導入による知財部門の役割変化

業務内容が「事務・調査」から
「戦略・創出支援」へ劇的にシフト

AIが定型業務を代替することで、人間はより
高付加価値な業務に集中できます。

Claude Opus 4.5



PC操作の自動化

AIが特許庁サイトを直接操作し、出願や年会管理などの定型業務を実行します。



深層リサーチ
(Deep Research)

特許・論文・製品情報など複数の情報源を機能的に自律調査し、網羅性を高めます。



自律型エージェント

調査から分析、報告書作成までの一連のワークフローを計画し、自動で実行します。



AI導入前



AI導入後（予測）